

往還ノート

1学期1号(257号) 2025年4月

 **放送大学** 広島学習センター
福山サテライトスペース

祝 ご入学

● 広島学習センター所長 吉村 幸則 ●



新入学生の皆さまご入学おめでとうございます。
大学での学びに高い志を抱かれている皆さまを広島学習センターと福山サテライトスペースの教職員一同は心より歓迎いたします。

放送大学はいつでも、どこでも、都合に合わせて学べる大学ですが、学習センターとサテライトスペースは、皆さまのキャンパスですので大いに利用してください。ここで行われる授業や講演会で学びを深めることができますし、友人との談笑や課外活動などを楽しむこともできるでしょう。図書室や授業の再視聴の設備も整っています。事務の方も丁寧な対応や説明をさせていただきます。客員教員の先生方による学習相談は心強い支援になると思います。面接授業は年に約60科目が開講されるほか、客員教員による公開特別講座や、県内の専門家の先生方に地域の文化や課題等につ

いて話していただく公開講演会も開催しますので、授業を超えて広くいろいろなことも学ぶことができます。たとえば、ここ1年では、広島の文化、産業、環境に関連して、「もみじ饅頭の歴史」、「柑橘類の生産と機能」、「オオサンショウウオの生態」などをテーマにした講演会を開催しています。こうした機会をできるだけ増やしていきたいと思っていますので、皆さまどうぞご参加ください。課外活動のサークルは8団体あって、活動を楽しまれています。秋の文化祭では、個人や授業での作品もありますが、サークルからの作品の出展が多くあります。皆さまも課外活動を楽しまれてはいかがでしょうか。

皆さまにはどうぞ、「楽しい日本」の放送大学で、元気で活発な学生生活をお送りください。

目次

所長室便り	1
退任の挨拶(客員教員)	2
新任の挨拶(客員教員)	3
事務室からのお知らせ	
● 面接授業科目の追加登録について	4
● 通信指導について	5
● Web 単位認定試験について	6
● 無線 LAN 利用申請書について	7
● 学生証交付について	7
● 学習センターの閉所日2日制の導入について(予告)	8

行事の報告・お知らせ

● 2024 年度卒業研究成果発表会	8
● 卒業研究ガイダンスを開催します	9
スケジュール(4月～7月)	9
卒業・修了おめでとうございます	10
● 学位記授与式客員教員祝辞(客員教員)	11
● 卒業・修了おめでとうございます(所長)	12

2024年度末退任の挨拶(客員教員)

広島学習センター



澤田 英三(サワダ ヒデミ) | 安田女子大学心理学部・教授

専門 | 発達心理学、フィールド研究の方法論

公開特別講座は、私にとってもたいへん勉強になりました。重松清氏の小説「ひこばえ」をライフサイクルの観点から紐解いてみたり、心理学が社会に影響を与えたトピックスを取り上げて功罪を提起してみたり、心理学の研究では主流ではない事例研究の意義を考えたりと。どのテーマも、大学の授業の一部として話したことはありましたが、90分の講座に仕立てるためには新たな材料と思考が必要でした。放送大学の講座は、私に刺激を与えてくれるいい機会でした。



中島 健一郎(ナカシマ ケンイチロウ) | 広島大学大学院人間社会科学研究科・教授

専門 | 社会心理学、教育心理学

あいだ1年をあげ、計10年間客員教員として勤めました。中島にとってこの10年間は宝物でした。学生のみなさまの熱い思いに触れるたびに、大学教員としての仕事がどれほど幸せなものか、感じる事ができたからです。広島学習センターの職員の方々とのかわりも忘れられません。中島が仕事をしやすいように、いつも丁寧に接して下さったことに感謝申し上げます。来年度から立場はかわりますが、これからもみなさまのことを想っております。今までありがとうございました。



勝部 真人(カツベ マコト) | 広島大学名誉教授

専門 | 日本近代史

あっという間の時間でした。毎年6回の公開特別講座に毎回出席され熱心に聴講される方々に、私自身が大きなエネルギーをいただきました。また昨年末に面接授業を行いました。毎時間の終わりに私の“暴論”に真っ向から異論や議論が起こるなど非常に活発なクラスで、最後の最後に理想的な授業ができたこと一人悦に入っております。そういう意味で、実に楽しい5年間でした。これからも、皆様に負けず学び続けたいと思っております。ありがとうございました。

福山サテライトスペース



平野 晋吾(ヒラノ シンゴ) | 福山市立大学教育学部・准教授

専門 | 生理心理学

2年間の在任期間中、皆さんの意欲的な姿勢や、学問や資格への真剣な眼差しに常に感銘を受けてきました。特に実験や卒業研究において、幅広い年齢層の方々の試行錯誤を見守ることができたことは、今後の大きな糧になると確信しています。公開特別講座では、生理心理学や睡眠科学に関する知見を共有させていただきました。ご質問をいただいた内容は今後の研究に活かしてまいります。今後は、福山サテライトスペースにて非常勤講師としてお世話になります。ありがとうございました。



宮川 朗子(ミヤガワ アキコ) | 広島大学大学院人間社会科学研究科・教授

専門 | フランス語文学

あっという間の1年間でした。公開特別講座では、フランス語文学という、あまりなじみのない分野の話にもかかわらず、毎回、熱心に聴講して下さる学生さんたちのおかげで、和やかな雰囲気の中で、楽しく講義させていただくことができました。ありがとうございました。公開特別講座の準備や教員懇談会などでお世話になったスタッフのみなさまにもお礼申し上げます。みなさんのご発展を、陰ながらお祈りいたします。

2025年度新任の挨拶(客員教員)

広島学習センター



岩永 誠(イワナガ マコト) | 広島大学名誉教授

専門 | 社会科学、心理学、臨床心理学

私は、不安や抑うつ、ストレスが引き起こされる社会環境的要因や心理的要因について研究してきました。ストレスというと、とかく悪者扱いされますが、適度なストレスはむしろ勉強や仕事の成果を上げるのに役立ちます。人の成長には欠かせないスパイスなのです。ですので、いかにしてストレスをコントロールするかが課題となります。自分にとって有効なストレス対処法を知ることは、人生の荒波を乗り越える上でとても大切です。私の授業を通して、そのヒントが見つかるといいですね。



齋藤 大輔(サイトウ ダイスケ) | 安田女子大学心理学部・准教授

専門 | 神経・生理心理学

私の専門は神経・生理心理学です。主に、こころと脳・身体との相互作用についての理解を深めることを目的とした研究に取り組んでいます。具体的には、知覚、認知、行動の背後にあるこころの働きや神経基盤を解明するため、心拍数や発汗などの生理学的指標、脳波、脳機能画像法などを用いた実験的アプローチを通じて、精神的活動と身体的活動との関連を探る研究を行っています。放送大学では、心理的な要因がどのように身体に変化をもたらすのか、また、こころと身体はどのように結びついているのかについて、考えていきたいと思います。



鴨頭 俊宏(カモガシラ トシヒロ) | 広島大学大学院人間社会科学研究科・教育研究推進員

専門 | 日本近世史、瀬戸内海地域史

広島県内に転入してから20年あまり、江戸時代に瀬戸内や中国路(山陽道)の交通を支えた情報ネットワークを研究しつづけています。ただ現在は、自治体ごとに刊行する自治体史誌の編さん事業史を検討したり、大学と地域社会の研究を通じた連携の推進に参画したりと、大学での学びを今日の地域社会と結びつけることに重点を移すようになりました。こうした経験を活かしながら、地域史研究について、相互に有意義な学びを得られるようにしたいと思います。

福山サテライトスペース



松尾 浩一郎(マツオ コウイチロウ) | 福山市立大学教育学部・教授

専門 | 発達心理学、感情心理学

私の専門は発達心理学、感情心理学です。心理学は私たちの日常生活にも深く関わる学問です。心理学的な考え方や研究法を共有させていただきながら、みなさんの経験や関心と結びつく新たな視点を提供できればと考えています。放送大学ではさまざまな背景を持つ方々が学ばれていますが、その多様な視点は学びを豊かにするものです。共に考え、学びを深めていきましょう。これからどうぞよろしくお願いいたします。



大野 英志(オオノ ヒデシ) | 広島大学大学院人間社会科学研究科・教授

専門 | 英語史、中世英語英文学

2024年度にイギリスで海外研修をして、客員教員へは1年ぶりの復帰となりました。研修中は自分の研究をしながら、現地大学の授業の参観もしました。これまで習わず、自分でも勉強していなかった事柄に触れ、自分の怠慢を恥じる気持ちよりも、新たな知識を得られた喜びを強く感じることができました。放送大学の公開特別講座等におきまして皆さんと情報交換をして、新たな喜びを得られることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

●面接授業科目の追加登録について

☑ 面接授業時間割表(P8～) 参照

面接授業科目の「追加登録」はWebから申請してください！

(ライブWeb授業も準じます)

科目登録決定後、空席のある科目については、当該科目を開設する学習センターで追加登録を受付けます。

他の学習センター・サテライトスペースで開設する面接授業の追加登録はできません。

「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」という方も、この機会を活かして面接授業にご参加ください。また、2024年度第2学期から全ての学習センターで追加登録の事前申請をWebから申請いただけるようになりましたので、ぜひご利用ください。

追加登録は以下のとおり行います。

① 空席発表

日 時	4月11日(金)15:00	  Click
空席確認	システムWAKABA【ログイン】→【学内リンク】→【面接授業(第1学期)】→【お知らせ】→【空席状況のお知らせ】より確認する	

面接授業(第1学期)Webサイト

② 事前申請受付

受付期間	4月11日(金)15:00～4月16日(水)13:10
申 請	A Googleフォームから申請する B 学習センターの窓口で申請する

抽選

③ 抽選結果(当選科目)

日 時	4月17日(木) キャンパスメールへ抽選結果を通知する
授業料納入期間	4月24日(木)までに授業料を納入する 窓口または郵送にてお支払いください。 所定の授業料(1科目6,000円×申請科目数) ※ライブWeb授業「心理学実験(基礎)」の授業料は2単位12,000円です。

④ 先着申請受付(事前申請で満席とならなかった科目)

日 時	4月17日(木)15:00以降随時
空席確認	システムWAKABA【ログイン】→【教務情報】→【科目登録申請】→【空席照会】より確認する
申 請	窓口または郵送にて申請を行う

●通信指導について

☑ 学生生活の葉(教養学部P67～/大学院P72～) 参照

通信指導とは、放送授業または一部のオンライン授業について、各学期の途中に1回一定の範囲から出題された課題について、その答案を提出し担当教員の添削指導を受けることです。下表の提出期間内にWeb通信指導もしくは郵送※にて提出してください。**未提出の場合は単位認定試験の受験資格が得られません**ので、必ず締切日までに提出しましょう。

未提出や不合格の場合は、当該科目を登録した次学期に在学(休学は除く)している場合に限り、再度通信指導を受けることができます。

Web通信指導 (インターネット)	2025年5月8日(木)10:00 ～ 5月28日(水)17:00
郵 送※	2025年5月14日(水) ～ 5月28日(水) 放送大学本部(千葉県美浜区若葉2-11)必着

※郵送での提出は、Web通信指導による提出が困難な場合に限ります。

2024年度第2学期から通信指導は原則Web提出となっています!!

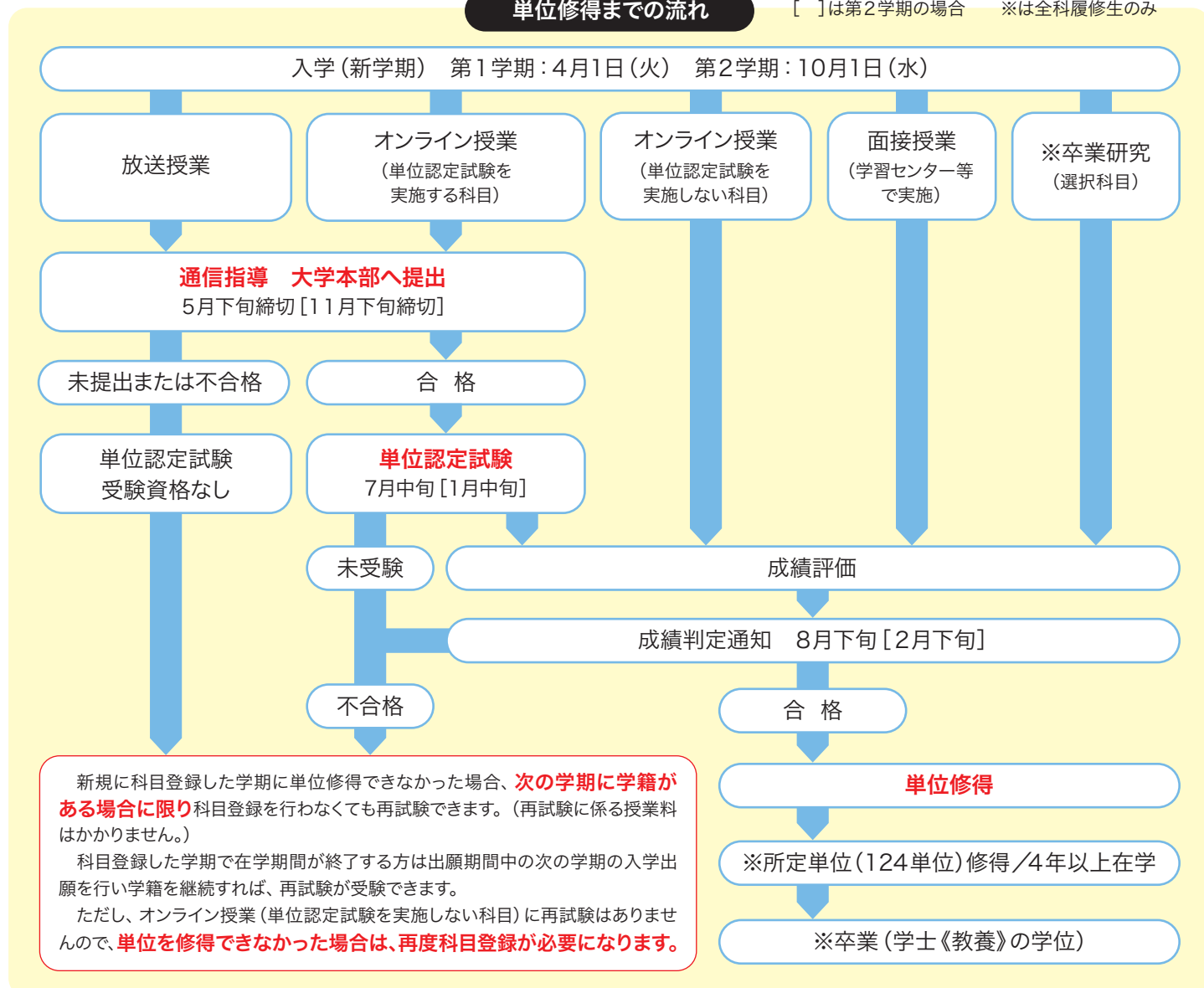
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/tuS.pdf>


※添削結果は、択一式科目の場合は**7月3日(木)**、記述式科目の場合は**7月9日(水)**までに送付されます。もし届かない場合は、大学本部(☎043-276-5111)に連絡してください。

※通信指導の内容に関する質問は、提出期間締切後までお受けできません。疑義等が生じた場合は、提出期間後にシステムWAKABAの「授業サポート→質問箱」または「質問票」を用いて質問してください。

単位修得までの流れ

[]は第2学期の場合 ※は全科履修生のみ



●Web単位認定試験について

☒ 学生生活の葉(教養学部P72～/大学院P77～) 参照
 ☒ 授業科目案内(P15) 参照

今学期の単位認定試験は、**Web受験方式(一部科目※については郵送受験方式)**にて実施します。

1.試験日程

実施方法	出題方法	試験日程(郵送試験は提出期間)
Web試験(試験期間)	択一式科目	2025年7月16日(水)9:00～7月24日(木)17:00
Web試験(試験期間)	記述式・併用式科目	2025年7月16日(水)9:00～7月20日(日)17:00
郵送試験(提出期間)	すべての出題形式	2025年7月16日(水)～7月20日(日)《郵送必着》

2.実施方法

Web受験方法

自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・解答提出(送信)を行います。
(試験期間内であればいつでも受験可能)

- ▼ 1科目50分の制限時間があります。(一時停止不可、1回のみ受験可能)
- ▼ 科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
 - ・択一式問題: 選択肢をクリックして解答します。
 - ・記述式問題: 解答記入欄に文字入力して解答します。



郵送受験方法

※「行政学講説('24)」(記述式)、「正多面体と素数('21)」(記述式)、
「日本美術史の近代とその外部('18)」(記述式)、「量子化学('19)」(併用式)

- ▼ 7月上旬ごろ大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。
- ▼ 試験時間の制限は行いません。



自宅等でのWeb受験が困難な方の学習センター受験について

- ▼ 「Web受験方式」の科目を登録している方で、ご自宅等にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等のご事情があり、自宅等でのWeb受験が困難な方は、所定の手続きを行うことで、受験場所を学習センター等に変更することが可能です。
学習センター・サテライトスペースでの単位認定試験受験を申請された方のみ受験していただけます。

申請方法及び申請期間については学生生活の葉をご確認ください。

学習センター等で受験する場合の注意事項

- ◆ 学習センター等で受験する場合、「学習センター受験者用の単位認定試験時間割一覧」(授業科目案内 教養学部P149～152/大学院P52)に記載の試験日・時限に受験する必要があります。
- ◆ 学習センター等で受験する場合でも、原則として「問題の閲覧」及び「択一式の解答」は、学習センター等のパソコンを用いてご自身で行っていただきます。('記述式の解答'のみ、解答用紙で行います。)
- ◆ 6月から7月にかけて学習センターで行う操作体験会にご参加ください。各学習センターの体験会実施日時等の詳細については学習センター受験する方に、随時ご案内を送付します。

● 無線LAN利用申請書について

☑ 学生生活の栞(教養学部P116~/大学院P116~/) 参照

2024年10月8日からオンライン(システムWAKABA)で無線LAN利用申請ができるようになりました。
 ※システムWAKABA内の学内リンクから「放送大学自己学習サイト」に進んで、「情報セキュリティ研修(学生用)」を事前に受講し、確認テストに合格している必要があります。
 ※システムWAKABAからの申請が難しい場合は、窓口で代理申請も可能です。

申請方法

- 1 システムWAKABA「放送大学自己学習サイト」の「情報セキュリティ研修(学生用)」(50分程度)を受講して小テストに合格する。
- 2 システムWAKABA「キャンパスライフ」の「各種届出・申請様式」内にある「無線LAN利用申請(オンライン)」について」のリンク先ページの最下部「参考URL」のリンクから申請フォームを開く。
- 3 アカウント: キャンパスメール※(campus.ouj.ac.jp)でgoogleにログインする。
 ※学生番号@campus.ouj.ac.jp
- 4 フォーム下部「無線LAN利用申請」のリンクをクリックする。
- 5 氏名を入力し、「無線LAN利用条件」を最後まで確認し、「同意」にチェックを入れて「申請する」をクリックする。
- 6 申請後、IDとパスワードが表示される。
- 7 学習センターでご自身の端末のWi-Fi設定を行う。

面接授業で使用希望の場合は該当機器での事前接続テストを推奨します。

情報セキュリティ研修
受講方法

無線LAN
申請方法

Wi-Fi houdai
PC・携帯・Mac接続方法

詳しくは放送大学広島学習センターのWebサイトよりご確認ください。

● 学生証交付について

☑ 学生生活の栞(教養学部P23~/大学院P34~/) 参照

3月末で学生証の有効期限が切れる全履修修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は、**4月2日(水)から交付**できます。

窓口 提出物

- ・入学許可書、または期限の切れた学生証

郵送 広島学習センターまたは福山サテライトスペースへ送付

全員

- ・必要事項が記入された学生証交付願
- ・返信用封筒(特定記録郵便)
 ...宛名を記入後、320円切手を貼り付けしたもの

新規 入学者

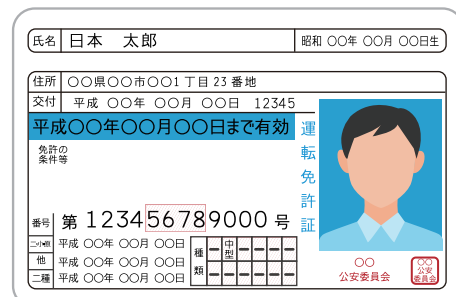
- ・入学許可書のコピー
- ・運転免許証等顔写真の入った証明書のコピー

継続 入学者

- ・入学許可書のコピー
- ・旧学生証

在校生

- ・有効期限の切れた学生証



学生証の交付について 詳しくは広島学習センターのWebサイトよりご確認ください。

● 学習センターの閉所日2日制の導入について(予告)

日頃より、放送大学の教育研究に対し、ご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、放送大学本部においては、学習センターの学びの拠点としての効果的・効率的な運用等の在り方について検討を行ってまいりましたが、このたび「原則として、すべての学習センターで閉所日2日制を実施する」との全体方針を定め、各学習センターの実情を踏まえ、令和7年4月以降、**準備の整った学習センターから**順次、実施することといたしました。

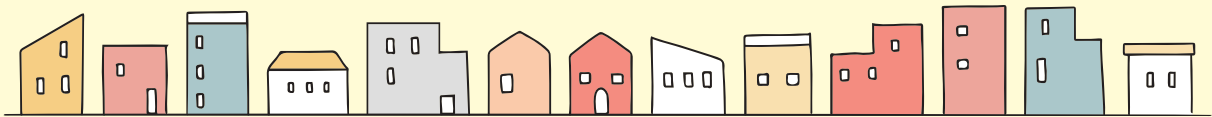
広島学習センター・福山サテライトスペースは令和8年4月から実施する予定です。
今後、各学習センターのWebサイトや窓口にてご案内いたします。
何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

システム WAKABA の学内連絡でもご案内しております。
合わせてご確認くださいませと幸いです。



● 場所

システム WAKABA → キャンパスライフ → 学内連絡 → 学習センターの閉所日2日制の導入について(予告)



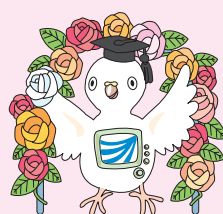
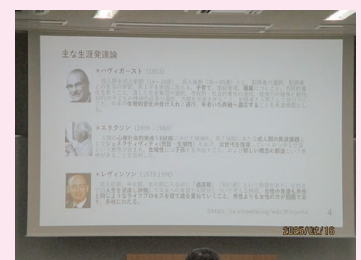
行事のお知らせ

2024年度 卒業研究成果発表会

- 日 時：2025年2月16日(日)
- 時 間：14:00～15:35
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)

2025年2月、広島学習センターにおいて卒業研究成果発表会が行われました。

5名の学生は1年間履修に取り組んだ成果を発表しました。また教員からは指導助言のコメントをいただき、有意義な卒業研究成果発表会となりました。



卒業研究ガイダンスを開催します

2026年度履修予定者向けの卒業研究ガイダンスを下記のとおり開催します。ガイダンスでは本部教員・職員による履修手続きやポイント等の説明を行います。履修を検討されている方は是非ご参加ください。

- 日 時：6月22日(日) 13:30～15:30
 - 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
 - 申込先：広島学習センター事務局
- ※履修の手引きは6月以降事務局にて配布予定です。



スケジュール(4月～7月)

2025 4 APR

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	祝 29	30				

11日(金)15:00 面接授業空席発表
 11日(金)15:00～16日(水)13:10
 面接授業追加登録(事前申請受付期間)
 17日(木)面接授業追加登録(事前申請抽選結果通知)
 15:00～ 面接授業追加登録(先着順申請受付)

2025 5 MAY

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	祝 3	祝 4
祝 5	振 6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1日(木)～31日(土) 夏季集中科目履修生(司書教諭)募集
 8日(木)10:00～28日(水)17:00 通信指導提出期間(Web)
 14日(水)～28日(水) 通信指導提出期間(郵送)

2025 6 JUN

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10日(火)～9月11日(木)2025年第2学期学生募集
 第1回募集：6月10日(火)～8月29日(金)
 第2回募集：8月30日(土)～9月11日(木)
 22日(日)10:30～12:00 公開講演会
 13:30～15:30 卒業研究ガイダンス
 27日(金)13:30～17:30 Web単位認定試験体験会

2025 7 JUL

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
祝 21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4日(金)13:30～17:30 Web単位認定試験体験会
 16日(水)9:00～24日(木)17:00
 単位認定試験期間(web試験) 択一式科目
 16日(水)9:00～20日(日)17:00
 単位認定試験期間(web試験) 記述式併用式科目
 16日(水)～20日(日) 郵送必着 単位認定試験提出期間(郵送試験)

閉所日(月曜日、祝日、所長が必要と認めた日)



広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
 (広島大学東千田キャンパス)
 TEL 082-247-4030
 FAX 082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1
 (まなびの館ローズコム3F)
 TEL 084-991-2011
 FAX 084-991-2012

メールアドレス hiroshima-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>



卒業・修了 おめでとうございます。

2025年3月23日(日)に、2024年度第2学期学位記授与式を行いました。



広島学習センター



福山サテライトスペース

2024年度第2学期 卒業生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	10名	4名
心理と教育コース	22名	7名
社会と産業コース	8名	—
人間と文化コース	6名	2名
情報コース	7名	2名
自然と環境コース	9名	5名
合計	62名	20名

2024年度第2学期 修了生数

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活健康科学プログラム	—	—
人間発達科学プログラム	2名	—
臨床心理学プログラム	—	—
社会経営科学プログラム	—	1名
人文学プログラム	—	—
情報学プログラム	—	—
自然環境科学プログラム	—	—
合計	2名	1名

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。



学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授
澤田 英三



僭越ではございますが、客員教員を代表して、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

卒業生・修了生の皆さま、ご卒業・ご修了おめでとうございます。放送大学という生涯学習の聖地で、仕事や家事、育児をされながら、あるいは第二の人生の目標として、改めて大学で学問を修めることを選択されて学び続けてこられた成果が、先ほど受け取られた学位記に記されています。皆さまのご努力に改めて敬意を表します。

さて、近年の大学入学の傾向として、浪人して入学する学生が少なくなってきた、現役入学生が増えています。少子化と大学の入学定員との関係で、入りたい大学へのこだわりがなければ大学に入ることが容易にできる時代になりつつあります。大学への入りやすさだけではなく、「タイパ」「コスパ」といった効率性を重視する心の傾向に、子どもだけでなく親さえも変化してきているのが現代の特徴なのかもしれません。そのような世の風潮の中で、必ずしも効率性だけにとらわれていないのが放送大学ですね。

私は「発達心理学」を専門にしています。近い領域としては「学習心理学」があります。人はさまざまなことを学習して成長していきます。その意味では両者は近い領域としてとらえられます。しかし、私は「学習」ではなく「発達」にこだわがあります。「学習」は学習する内容をいかに効率的・効果的に学習するかといったことが主要なテーマになってきますが、特に大人の「発達」を考えると、自分の辿ってきた歩みをどのように意味づけて自分の中に収めていくかがポイント

になってきます。ある時は失敗だと思っていた人生の回り道が過ぎた後にどのように意味づけられるのか、あるいは逆にその時は順調に進んで鼻高々だった自分のことを後悔の念を持って振り返るのか、それらの意味付け方によって、われわれの人生の歩む方向や歩み方は変わってきます。そのような人生の変遷を「発達」としてとらえていくのです。

皆さんは人生のある時点で、ご自身の現在とこれまでを振り返り、将来の自分の在り方を考える中で、それぞれ思いを持って放送大学にご入学され、学んでこられました。その過程でさまざまな人と出会い、学びや出会いを通して、自分や専門領域のことについて深く考え、ご自身の将来について考えてこられたことだと思います。放送大学で過ごされた時間は、皆さんにとってとても大切なかけがえのない時間だったことと思います。そして、今日が卒業という区切りです。しかし、皆さんが放送大学で学んだことは、これからそれを振り返るたびにさまざまな意味付けがなされ、大学時代がより豊かな経験として意味づけられていくことと思います。そして、今後のさらなる学びへとつながっていくと期待しています（含む、放送大学への再入学）。

皆さま、本日は、誠におめでとうございます。本日、学位記授与という一つの区切りを迎えて、皆さまが人生の新たな意味を見出して、今後も学びを継続され、深めていかれることを、客員教員一同、期待しております。ともに学んでいきましょう。

卒業・修了おめでとうございます

お祝いの言葉

広島学習センター
所長 吉村 幸則

ご卒業・ご修了される皆さま、おめでとうございます。今学期は広島学習センターと福山サテライトスペースで、教養学部を82名の方が卒業され、そして大学院文化科学研究科を3名の方が修了されました。放送大学では、放送授業、オンライン授業、そして面接授業のように多様な形式の授業があって、さらに皆さまが在学中にweb単位認定試験も始まりました。ご自分の都合に合わせて受講できるとはいえ、他の仕事をお持ちの方はご苦労も多かったと思います。努力されて卒業・修了された皆さまにお祝いの言葉をお送りできることを嬉しく思います。

本年（2025年）は「昭和100年」にあたります。この間にわが国は高度に成長しましたが、悲しい世界大戦も経験しました。そして、本年は「被爆80年」、「戦後80年」にもなります。2024年は日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。また、本学（広島学習センター）の卒業生が「行動する詩人 栗原貞子 ―平和・反戦・反核にかけ

た生涯―」という著書を出版して、第27回日本自費出版文化賞を受賞されました（往還ノート256号参照）。私たちの周りには平和を願って活動をされている方が沢山おいでです。現在も世界の各地で紛争が起こっていますが、これからも私たちは平和を希求し、日本そして世界の人々と平和への願いを大切に持ち続けることを願っています。

学び続けることに終わりはなく、いつまでも教養を高めることにより、新しい喜びをもらえんと思います。これからも放送大学での経験を活かして学び続けられることを願っています。皆さまの学ぶ意欲や経験を活かした活動は、きっと周囲の方のさらなる意欲も誘うのではないのでしょうか。今後とも公開特別講座や公開講演会に参加していただきたいですし、希望される方には再入学も歓迎いたします。公開講演会では主に地域に関わりの深い産業や自然、文化等を中心にしたテーマを想定しています。

どうぞこれからも健康にご活躍ください。